

製品安全データシート

「混合物用(塗料用)」

整理番号 0142002

製造者情報	会社名	株式会社 高本コーポレーション			
	住所	大阪府四条畷市下田原1364-1			
	担当部門	株式会社 高本コーポレーション			
	電話番号	0743-72-3117	FAX番号	0743-72-3118	
	緊急連絡先	担当部門に同じ	電話番号	担当部門に同じ	
	作成部門	株式会社 高本コーポレーション			
	担当者	高本 修一			
	作成者	高本 修一			
	作成、改定	2007/11/28			
製品名の特定	製品名	ピュアプロテクト			
	製品説明	種類 : 無機水系1液型汚染防止材 主な用途 : 建築外装用クリーナー			
物質の特定	成分及び含有量(危険有害性物質を対象)				
	成分名	化学式	CAS No.	含有量	備考
	有害性成分は規定量含有していない				
危険有害性の分類	分類の名称	: 該当せず			
	危険有害性コメント	☆ 特に危険、有害性の情報を有しない。			
応急措置	目に入った場合	☆ 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。 ☆ できるだけ早く医師の診断を受けること。			
	皮膚に付着した場合	☆ 付着物を布にてすばやくふき取る。 ☆ 大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナー等は使用しないこと。 ☆ 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。			
	吸入した場合	☆ 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。			
	飲み込んだ場合	☆ 口に入れてしまった場合は、すぐに吐き出し、口内を水で良くうがいして洗浄すること。 ☆ 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。 ☆ 嘔吐物は飲み込ませないこと。			
火災時の措置	使用可能消化剤	水[○]、炭酸ガス[○]、泡[○]、粉末[○]、乾燥砂[○]、その他[]			
	消火方法	☆ このもの自体には可燃性ない。			

漏出時の措置	<p>☆ 作業の際には、適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。</p> <p>☆ 漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。</p> <p>☆ 付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。</p> <p>☆ スコップ、ウエス等を用いて回収する。大量の流出には盛土などで流出を防止する。水での洗浄等も、河川等へ排出されると環境汚染を引き起こす恐れがあり注意すること。</p>			
取扱、保管上の注意	<p>取扱上の注意</p> <p>☆ 換気の良い場所で取り扱う。</p> <p>☆ 容器はその都度密栓する。</p>			
	<p>保管上の注意</p> <p>☆ 日光の直射を避ける。</p> <p>☆ 高温を避け、冷暗所に保存する。</p> <p>☆ 通風の良いところに保管する。</p>			
暴露防止措置	<p>設備対策</p> <p>☆ 特別に必要なない。</p>			
	保護具	目の保護	☆ 取り扱いには保護眼鏡を着用すること。	
		皮膚の保護	☆ 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。	
		呼吸系の保護	☆ スプレー作業を行う場合には、ミストやガスなどの吸入を妨げる適切な保護マスクを着用すること。	
		その他の保護具		
製品の物理／化学的性質	<p>状態</p> <p>液体[○]、気体[] 固体:固形[], 粉末状[], ペースト状[]</p>			
	色	透明	臭気	僅かにアクリル臭
	沸点		蒸気圧	
	密度(比重)	約1 g/cm ³	pH値	8.7~9.7
	その他	水に可溶。		
危険性情報	<p>製品特数</p> <p>引火点 : ℃ 発火点 : ℃</p>			
	<p>爆発限界 : (下限) ℃ (上限) ℃</p>			
	反応性・安全性情報	<p>接触により危険性のある物質</p> <p>☆ 特に情報を有していない。</p>		
		<p>燃焼による有害ガスの発生</p> <p>☆ このものは燃えないが、塗膜等が燃焼した場合は、CO等の有害ガスを発生する恐れがある。</p>		
<p>その他の反応性情報</p> <p>☆ 通常の状態では反応性はない。</p>				
<p>その他の危険性情報</p> <p>☆ 特に情報を有していない。</p>				
有害性情報	<p>組成物質の有害性及び暴露濃度基準</p>			
	物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC その他の有害性

	組成物質に関するその他の有害性情報 特に情報を有していない。			
	製品に関する有害性情報 製品としての安全性試験情報を有していない。			
環境影響情報	☆ 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。			
廃棄上の注意	☆ 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。 ☆ 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 ☆ 排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。			
輸送上の注意	共通事項	☆ 取扱及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 ☆ 容器漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。		
	陸上輸送	☆ 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。		
	海上輸送	☆ 船舶安全法に定めるところに従うこと。		
	航空輸送	☆ 航空法に定めるところに従うこと。		
	国連番号	なし		
適用法令	☆ 関係法規には該当しない。			
その他	主な引用文献 ☆ (社)日本塗料工業会編「製品安全データシート ガイドブック」第4版 追補版 ☆ (社)日本塗料工業会編「MSDS用物質データベース」第4版 追補版 ☆ 化学工業日報社「化学物質管理促進法(PRTR・MSDS)対象物質全データ」 ☆ 化学工業日報社「労働安全衛生法(MSDS)対象物質全データ」 ☆ 化学工業日報社「毒物及び劇物取締法(MSDS)対象物質全データ」 ☆ 化学工業日報社「化学品別 適用法規総覧」増補新版 ☆ 化学工業日報社「実務者のための化学物質等法規制便覧」改定第2版 ☆ (社)日本塗料工業会編「塗料原料便覧」 ☆ 化学工業日報社 MSDS用語集 ☆ 原材料メーカーのMSDS			
	[注意] 記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料、情報、データに従ったものですが、すべてを完全に網羅しているわけではなく、必ずしも十分ではありませんので、必要な安全な取り扱いを決定する場合には、使用者がその責任においてこの情報の利用をお決めいただくと共に、取扱には十分注意して下さい。			